

■■化学療法投与計画書《XELOX+Pan療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp) パニツムマブ 9mg/kg 点滴静注 day 1 3週毎
 オキサリプラチン 130 mg/m² 点滴静注 day 1 3週毎
 ゼローダ ※用量は下記参照 内服(1日2回) day 1(夕)~15(朝)

※ゼローダ用量:体表面積に応じて調整
 [1日2回服用]
 1.36m²未満 1,200mg(4T)/body /回
 1.36m²以上1.66m²未満 1,500mg(5T)/body /回
 1.66m²以上1.96m²未満 1,800mg(6T)/body /回
 1.96m²以上 2,100mg(7T)/body /回

レジメンコメント1
レジメンコメント2

本管①
生理食塩液PL「フソー」100mL 1 瓶

- <注意すべき副作用>
- 過敏症 ●食欲不振、吐き気 ●手足のしびれ
 - 口内炎 ●下痢 ●手足症候群
 - 色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
 - 白血球減少 ●赤血球減少(貧血)
 - 血小板減少 ●肝機能低下
 - 皮膚科症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)

★ゼローダ投与に伴う手足症候群予防対策
 〈初回投与時より開始〉
 ノイロピタン錠 2T 2×内服(休薬期間も継続)
 保湿クリーム 塗布 (1日5回以上頻回使用)

側管①
15分 ↓
パロノセトロン点滴バッグ 1 袋
0.75mg50mL
デカドロン注射液1.65m 4 管

側管②	全量100mLに調製 インラインフィルター使用
60分 ↓	
【mL】生理食塩液 100mL mL	
パニツムマブ mg	
〈腫〉ベクティビックス点滴静注400mg:	
〈腫〉ベクティビックス点滴静注100mg:	

- ★パニツムマブ投与期間中、以下の初期症状
 (Infusion reaction)に注意すること
 (※症状発現時→重症度に応じて速やかに対処)
 ・意識消失又はショックを症状とした
 アナフィラキシー様症状
 ・呼吸困難 ・気管支痙攣 ・蕁麻疹
 ・低血圧 ・悪寒・発熱 ・血管浮腫 等

側管③
5分 ↓
【50mL】生理食塩液 50mL 1 瓶

<実施時の注意>
 漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、
 ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。
 オキサリプラチン投与時は寒冷刺激により末梢神
 経障害が誘発されるため患部の冷却は避ける。
 アルミニウムとの接触により分解するため調製時あ
 るいは投与時にアルミニウムが用いられている機
 器(注射針等)は使用しないこと。

側管④
120分 ↓
大塚糖液5% 250mL(5%TZ) 1 袋
オキサリプラチン mg
〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液100mg:
〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液50mg:

- ★パニツムマブ投与に伴う皮膚障害対策
 〈予防〉…初回投与時より開始
 ①ミノマイシンカプセル 200mg 2× (投与6週間で終了)
 ②ヘパリン類似物質(保湿剤:体全体に塗布)
 〈症状発現時〉
 ③ロコイド軟膏orクリーム(ステロイド剤/Medium:顔)
 ④アンテベート軟膏(ステロイド剤/Very Strong:体)
- ※以後、症状により継続・再開及び抗アレルギー剤等薬剤追加検討
 ※上記無効時又は外用ステロイド副作用発現時
 →皮膚科又は形成外科へコンサルト